

主催：恵那市、恵那市教育委員会、(公財)中山道広重美術館
監修：中右 瑛(国際浮世絵学会理事)、企画協力：E.M.I.ネットワーク
【秋季特別企画展】

歌麿とその時代

黄金期の浮世絵 美人画と役者絵

会期：10月8日(木)～12月6日(日)
※前・後期作品全入れ替え
会場：中山道広重美術館
展示室1,2(1,2F)

【前期】10月8日(木)～11月8日(日)

作者	作品名	版型	制作年
1 喜多川 歌麿	青楼三美人	錦絵大判	寛政4－5年頃(1792-1793頃)
2 喜多川 歌麿	青楼十二時 亥ノ刻	錦絵大判	寛政5－7年頃(1793-1795頃)
3 喜多川 歌麿	青楼十二時 寅ノ刻	錦絵大判	寛政5－7年頃(1793-1795頃)
4 喜多川 歌麿	高名美人見立 忠臣蔵 十二枚つづき初段	錦絵大判	寛政6年(1794)
5 喜多川 歌麿	高名美人見立 忠臣蔵 十二枚つづき十一段	錦絵大判	寛政6年(1794)
6 喜多川 歌麿	娘日時計 巳ノ刻	錦絵大判	寛政6－8年頃(1794-1796頃)
7 喜多川 歌麿	名所腰掛八景 ギヤマン	錦絵大判	寛政中期(1795頃)
8 喜多川 歌麿	両国橋 橋上の女たち	錦絵大判三枚続	寛政7－8年頃(1795-1796頃)
9 喜多川 歌麿	両国橋 船あそびの女たち	錦絵大判三枚続	寛政7－8年頃(1795-1796頃)
10 喜多川 歌麿	山姥と金太郎	錦絵大判	寛政後期－享和期(1800-1804)
11 二代 喜多川 歌麿	其姿同じ舞風流 助六伊久	錦絵大判	文化3－4年頃(1806-1807頃)
12 二代 喜多川 歌麿	福遊小宝合	錦絵大判	文化期(1804-1818)
13 二代 喜多川 歌麿	玉屋内花紫	錦絵間判	文化期(1804-1818)
14 喜多川 秀麿	風俗十二時 巳ノ刻	錦絵間判	享和－文化期(1801-1818)
15 喜多川 式麿	今容女歌仙 扇屋内花扇	錦絵大判	文化10年頃(1813頃)
16 石上	金絲縫当世鹿子 おなつ 清十郎	錦絵間判	—
17 文浪	若衆虚無僧と娘	錦絵間判	享和期(1801-1804)
18 白峨	青楼美人花合 丁子屋内唐琴	錦絵間判	—
19 百斎 久信	七福対春の寿 よみぞめ	錦絵大判	—
20 千万	吉原俄	錦絵大判	文化前期(1804頃)
21 鳥文斎 栄之	青楼美撰合 初買座敷之図 扇屋内瀧川	錦絵大判 雲母摺	寛政8－9年頃(1796-1797頃)
22 鳥高斎 栄昌	吉原俄	錦絵大判	寛政6－9年頃(1794-1797頃)
23 五郷	あふき屋内美人	錦絵大判 紅嫌い	天明7－寛政2年(1787-1790)
24 鳥囀斎 栄寿	大黒天打出の小槌とおいらん	錦絵大判	寛政後期(1800頃)
25 鳥園斎 栄深	鷹匠	錦絵大判	寛政－文化期(1789-1818)
26 鳥居 清長	四季八景 長夏夕照	錦絵中判	安永8年頃(1779頃)
27 鳥居 清長	当世遊里美人合 辰巳艶	錦絵大判	天明2－4年(1782-1784)
28 窪 俊満	料亭夜の景 堀の内外	錦絵大判三枚続 紅嫌い	天明後期(1788頃)
29 北尾 政演	金澤八景 州崎の晴嵐	錦絵中判	安永9年頃(1780頃)
30 北尾 政演	当世艶風拾形図	錦絵中判	天明2年頃(1782頃)
31 北尾 政演	吉原傾城新美人合自筆鏡 滝川 花扇	摺絵本	天明4年(1784)
32 勝川 春洞	千話鏡月の村雲 糸屋妹小いと佐七 姉おふさ	錦絵大判	寛政－文化期(1789-1818)

作者	作品名	版型	制作年
33 歌川 豊広	雪の手水鉢	錦絵間判	寛政－享和期頃(1789-1804頃)
34 歌川 豊国	初花月若菜摘の図	錦絵間判	—
35 歌川 豊国	歌川十二景 三月	錦絵間判	寛政11－12年頃(1799-1800頃)
36 歌川 豊国 歌川 国満	鞍馬山見立花合戦 牛若丸	錦絵大判三枚続	享和期(1801-1804)
37 菱川 柳谷	風流和歌三夕	錦絵大判	文化5年頃(1808頃)
38 勝川 春暁	若松屋内 緑木	錦絵大判	文化9年頃(1812頃)
39 歌川 豊清	今やう美人娘あわせ	錦絵大判	文化後期(1818頃)
40 彫工亭 俊正	風俗図	摺物横長判	—
41 勝川 春英 歌川 豊国 他	風俗図	摺物横長判	—
42 菊川 英山	風流女六歌仙 小野小町	錦絵大判	—
43 溪斎 英泉	美艷仙女香 潮くさき美人やふねの朝霞	錦絵大判	文政6年頃(1823頃)
44 歌川 国芳	梅の魁	錦絵大判三枚続	文政期以降(1818以降)
45 歌川 広重	東都名所 両国タすずみ	錦絵大判三枚続	天保2年～安政5年(1831-1858)
46 勝川 春章	四世岩井半四郎の揚巻と二世市川八百蔵の助六	錦絵大判	安永5年頃(1776頃)
47 東洲斎 写楽	二世市川門之助 伊達の与作	錦絵大判	寛政6年(1794)
48 勝川 春章	初世中村仲蔵の清玄	錦絵細判	安永6年(1777)
49 勝川 春章	初世中村仲蔵の鎮西八郎為朝と五世市川団十郎の弥平兵衛宗清	錦絵間判	安永9年(1780)
50 勝川 春章	尾上小三郎 坂東三津五郎	錦絵中判	明和7－天明期(1770-1789)
51 勝川 春章	役者絵	錦絵細判	明和7－天明期(1770-1789)
52 一筆斎 文調	二世市川高麗蔵	錦絵細判	明和後期－安永前期(1772頃)
53 鳥居 清長	出語り図 四世松本幸四郎の浮田左金吾と三世沢村宗十郎の高尾の幽鬼	錦絵大判	天明8年(1788)
54 無款	役者絵	団扇絵	—
55 歌川 豊国	市川団十郎の助六	団扇絵	—
56 歌川 豊国	岩井半四郎の揚巻	団扇絵	—
57 歌川 豊国	松本幸四郎の伊久	団扇絵	—
58 歌川 国貞	岩井半四郎の白井権八	団扇絵	文化期以降(1804以降)
59 鳥玉斎 栄京	朝妻船	絹本	—
60 鳥文斎 栄之	小野小町雨乞	絹本	寛政後期以降(1801頃以降)
61 宮川 春水	花魁	紙本	—
62 二代 喜多川 歌麿	花魁	絹本	文化3－文政期頃(1806-1830頃)
63 喜多川 式麿	福祿寿と遊女	絹本	—
64 窪 俊満	蛩を追う二美人	絹本	—
65 酔夢亭 蕉鹿	桜下太夫道行	絹本	—
66 歌川 国久	雪の中の芸者	絹本	享和－文化期頃(1801-1818頃)
67 春川 五七	立美人	紙本	文化－天保2年頃(1804-1831頃)
68 月斎 歌政	雪の橋上美人	絹本	文政期頃(1818-1830頃)

【後期】11月12日(木)～12月6日(日)

作者	作品名	版型	制作年
1 喜多川 歌麿	松葉楼粧ひ 実を通す風情	錦絵大判 雲母摺	寛政11年頃(1799頃)
2 喜多川 歌麿	婦人手業拾二工 手鞠つくり	錦絵大判	寛政9年頃(1797頃)
3 喜多川 歌麿	風流愛興競 お千代 半兵衛	錦絵大判	—
4 喜多川 歌麿	当世好物八景 さわき好	錦絵大判	享和2－3年頃(1802-1803頃)
5 喜多川 歌麿	教訓親の目鑑 ぐうたら兵衛	錦絵大判	享和2年(1802)
6 喜多川 歌麿	美人五面相 実があり相	錦絵大判	享和期(1801-1804)
7 喜多川 歌麿	雪中劉備、孔明を訪れる関羽と張飛	錦絵間判二枚続	天明後期－寛政前期(1789頃)
8 喜多川 歌麿	栗を持つ山姥	長絵	寛政後期－享和期(1800-1804)
9 喜多川 歌麿	雪の橋場	長絵	—
10 喜多川 歌麿	太閤五妻洛東遊観之図	錦絵大判三枚続	文化元年(1804)
11 喜多川 歌麿	御所車美人行列の図	錦絵大判三枚続	文化元～2年頃(1804-1805頃)
12 喜多川 秀麿	高名金花池	錦絵大判	享和－文化期(1801-1818)
13 喜多川 月麿	芸尽し見立宝船	錦絵大判	文化元－文政13年頃(1804-1830頃)
14 二代 喜多川 歌麿 喜多川 月麿 歌川 国貞	三美人の図	摺物横長判	—
15 喜多川 菊麿	三味線芸者	団扇絵	文化期頃(1804-1818頃)
16 晩器	五郎時宗とけはい坂少将	柱絵	享和－文化期(1801-1818)
17 鳥文斎 栄之	まつもと楼料亭内	錦絵大判三枚続	寛政3－4年頃(1791-1792頃)
18 一楽亭 栄水	松葉屋内 瀬川	錦絵大判	寛政後期(1800頃)
19 栄烏	青楼美人合 五明楼文越	錦絵大判 雲母摺	寛政期(1789-1801)
20 礫川亭 永理	権八 小紫	錦絵大判 雲母摺	寛政後期(1800頃)
21 鳥居 清長	隅田川船遊び	錦絵大判三枚続	天明期(1781-1789)
22 闇牛斎 円志	隅田川料亭図	錦絵大判三枚続	安永－寛政期(1772-1801)
23 吐雲	四季之句合	錦絵中判	—
24 勝川 春潮	七小町草紙洗小町見立	錦絵中判	—
25 栄松斎 長喜	座敷の大童山文五郎	錦絵大判二枚続	寛政3－7年頃(1791-1795頃)
26 勝川 春潮	見立妹背山 桜満開二階座敷ノ図	錦絵大判三枚続	天明後期－寛政前期(1788-1790頃)
27 葛飾 北斎	春の行楽	摺物横長判	—
28 菊川 英山	手水鉢の母子	掛物絵	文化中期(1810頃)
29 歌川 豊国	御高祖頭巾の女	掛物絵	—
30 北尾 政演	吉原傾城新美人合自筆鏡 滝川 花扇	摺絵本	天明4年(1784)
31 北尾 政演	吉原傾城新美人合自筆鏡 瀬川 松人	摺絵本	天明4年(1784)
32 北尾 政演	吉原傾城新美人合自筆鏡 よつめ屋内なな里	摺絵本	天明4年(1784)
33 北尾 政演	吉原傾城新美人合自筆鏡 角玉屋濃紫 角玉屋花紫	摺絵本	天明4年(1784)
34 北尾 政演	吉原傾城新美人合自筆鏡	摺絵本	天明4年(1784)
35 北尾 政演	吉原傾城新美人合自筆鏡 まつかね屋うち東家 九重	摺絵本	天明4年(1784)
36 歌川 豊広	拳遊びの二美人	錦絵大判二枚続	—

作者	作品名	版型	制作年
37 歌川 豊国	品川料亭の図	錦絵大判三枚続	—
38 勝川 春扇	雪中内儀	掛物絵	—
39 菊川 英山	風流南驛汐一丁 品川料亭の図	錦絵大判三枚続	—
40 溪斎 英泉	浮世風俗美女競	錦絵大判	文政7年頃(1824頃)
41 歌川 国貞	ほたる狩り	錦絵大判三枚続	文化後期－文政前期(1818頃)
42 歌川 広重	雪月花夜の眺 隅田堤闇の桜	団扇絵	天保2－安政5年(1831–1858)
43 春水	役者絵	錦絵細判	天明期頃(1781–1789頃)
44 東花堂 線橋	坂東三津五郎	錦絵細判	—
45 勝川 春好	四世岩井半四郎	錦絵中判	安永9年頃(1780頃)
46 勝川 春好	初世尾上松助 三世市川八百蔵 五世市川団十郎	錦絵細判三枚続	天明前期(1781頃)
47 勝川 春好	市江 四世市川団蔵の暫	錦絵細判	明和後期－天明期(1771–1789)
48 勝川 春英	四世岩井半四郎 大和屋杜若	錦絵細判	—
49 勝川 春山	三世市川八百蔵の道成寺	錦絵細判	天明後期(1788頃)
50 勝川 春泉	四世松本幸四郎	錦絵細判	天明後期－寛政前期(1789頃)
51 勝川 春艶	三世市川高麗蔵 初世中山富三郎 八世森田勘弥	団扇絵	寛政6年頃(1794頃)
52 喜多川 歌麿	役者絵	錦絵細判	—
53 東洲斎 写楽	中島和田右衛門のぼうだら長左衛門と中村此蔵の 船宿かな川やの権	錦絵大判 雲母摺	寛政6年(1794)
54 叢 豊丸	市川白猿 大友の黒主	錦絵細判	寛政12年(1800)
55 歌川 豊国	役者舞台之姿絵 はま村や	錦絵大判	寛政6年(1794)
56 歌川 豊国	三世坂東彦三郎の菅丞相と七世片岡仁左衛門の 白太夫	錦絵大判	寛政8年(1796)
57 歌川 国政	見立役者浄瑠璃狂言 おさん 長右衛門	錦絵間判	—
58 喜多川 藤麿	見立六歌仙	絹本	亨和－文化期頃(1801–1818頃)
59 喜多川 雪麿	恵比寿見立	紙本	—
60 喜多川 雪麿	大黒見立	紙本	—
61 喜多川 月麿	三味線芸者	絹本	文化元－文政13年頃(1804–1830頃)
62 無款	花魁道中	紙本	—
63 千嶺	蚊帳美人	絹本	文化9年(1812)
64 歌川 豊国	桜下上臈詠歌の図	絹本	—
65 菊川 英山	立美人	紙本	—
66 勝川 春暁	岡場所の女	絹本	—
67 歌川 国直	亀井戸天神太鼓橋	絹本	文化－天保期頃(1804–1844頃)

※掲載順と展示順が一部一致しない場合があります。